

臨床研修制度に対する評価の進め方について（案）

1 基本方針

- 次回の制度見直しに向けて、医道審議会医師臨床研修部会（以下「研修部会」）において、臨床研修制度に対する総合的な評価を行う。
- 評価を行うに当たっては、研修部会と別にワーキンググループ（以下「WG」）を開催して、臨床研修の実施状況や地域医療への影響などに関する実態を把握し、論点を整理する。

2 評価項目（主なもの）

- 「臨床研修制度のあり方等に関する検討会」の意見のとりまとめ（平成 21 年 2 月 18 日）で指摘された諸課題、これまでの研修部会での議論等を踏まえ、主な評価項目は、以下（1）～（4）のとおり。

（1）制度の運用状況に関する評価

- ① 研修医の基本的な診療能力
例：到達目標の達成度、経験症例数、修得能力
- ② 受入病院の指導・管理体制
例：指導医、プログラム責任者、研修管理委員会、研修医の評価
- ③ 受入病院の研修プログラム
例：研修科目（必修、選択必修、選択）、研修期間、病院群の形成
- ④ 受入病院における研修医の処遇
例：給与、社会保険、勤務時間
- ⑤ 臨床研修の修了状況
例：研修の修了・未修了、研修の中断・再開
- ⑥ 募集定員及び研修医の分布
例：地域別の分布、病院の規模・種類別の分布、マッチング

（2）制度の導入による影響に関する評価

- ① 研修医のキャリア形成に与えた影響
例：医師の進路（診療科、地域、大学病院・市中病院、基礎医学）
- ② 地域医療に与えた影響
例：大学病院の医師派遣機能、医師の診療科偏在・地域偏在

(3) 関連する医学教育の実施状況の把握

① 卒前教育の状況

例：共用試験（CBT、OSCE）、臨床実習

② 生涯教育の状況

例：学会認定の専門医研修

(4) 制度そのものに対する評価

○ (1) ～ (3) を踏まえた総合的な評価

例：基本理念、到達目標、研修期間、臨床研修病院の指定基準、
研修プログラムの基準、募集定員の設定方法

3 実態把握の方法（主なもの）

(1) 臨床研修、地域医療に関する統計データの活用

例：研修医の受入実績、医師・歯科医師・薬剤師調査

(2) ヒアリング、アンケート調査

○対象者： 研修医、臨床研修修了者、指導医、プログラム責任者、
病院長、大学医学部長、医療関係団体 等

○調査項目：研修医の進路、指導を受けた病院・研修の内容に対する評価、
研修医の意欲、研修医に対する評価 等

(3) 臨床研修病院への訪問調査

○対象病院：主として小規模の基幹型臨床研修病院（関連する協力型病院を含む）

○調査項目：臨床研修の実施体制、到達目標の達成状況 等

(4) 関係団体が実施する調査

4 WGの開催

○ 臨床研修の実施状況や地域医療への影響などに関する実態を把握し、
論点を整理するため、研修部会とは別にWGを開催する。

○ WGでは、必要な評価項目を適宜追加し、実態把握や論点整理を行った
結果について、研修部会に報告する。

○ WGは有識者10名程度で構成し、年数回開催する。

5 次回の制度見直しに向けたスケジュール

- ・平成22年10月頃 WGを開催
- ・平成24年中を目途 WGでの検討結果を研修部会に報告
- ・平成25年中を目途 研修部会において、臨床研修制度に対する総合的な評価を
行い、制度全般の見直しを検討
- ・平成26年4月以降 見直し後の制度に基づいて、平成27年度から臨床研修を
受ける研修医を募集